# 第26回全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名:東京都 建設局

事業の名称:東京都市計画道路

補助第46号線整備事業

実施都市名:東京都

## 事業目的

補助第46号線は、品川区西五反田四丁目を起点とし世田谷区等々力四丁目に至る、全長約6.2kmの都市計画道路である。本事業は、このうち品川区小山台一丁目から目黒区目黒本町三丁目までの約600mを整備し、山手通りから概成区間(かむろ坂通り)を抜けて補助第26号線を結ぶものである。

この整備により、新たな道路ネットワークが形成され、周辺道路の渋滞解消と生活道路への通過車両が減少し、さらに木造住宅密集地域での延焼遮断帯が形成されることで、都市生活の利便性と安全性の向上が図られる。

### 事業概要

事業名称:東京都市計画道路補助第46号線整備事業

路線名:補助第46号線

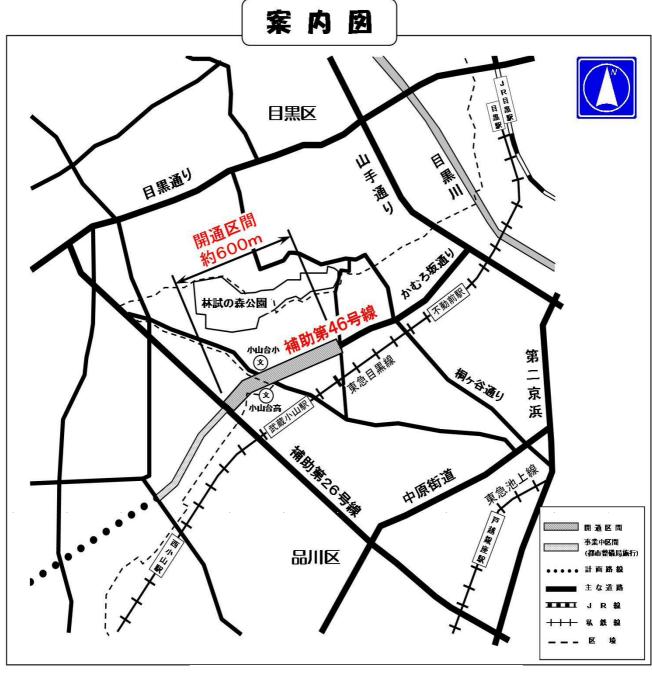
事業箇所:品川区小山台一丁目~目黒区目黒本町三丁目

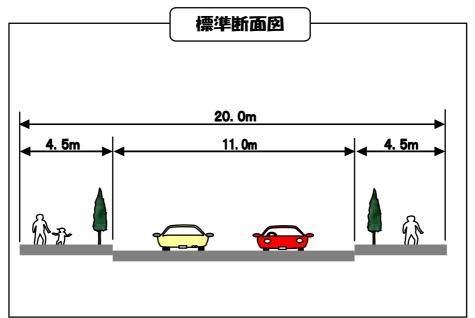
事業延長:600m 幅 員:20m

事 業 費:14,100百万円

事業実施期間:平成3年度~平成24年度

本事業は、全長約6.2kmの補助第46号線のうち、概成区間(かむろ坂通り)をはさみ、山手通りと補助第26号線とを結ぶ600m区間を整備する事業である。





## 補助第46号線の整備効果アピール資料

#### 〇事業概要

事 業 名:東京都市計画道路補助46号線整備事業

路線名:補助第46号線

事業箇所:品川区小山台一丁目~目黒区目黒本町三丁目

事業延長:600m 幅 員:20m

総事業費:約14,100百万円

事業期間:平成3年度~平成24年度

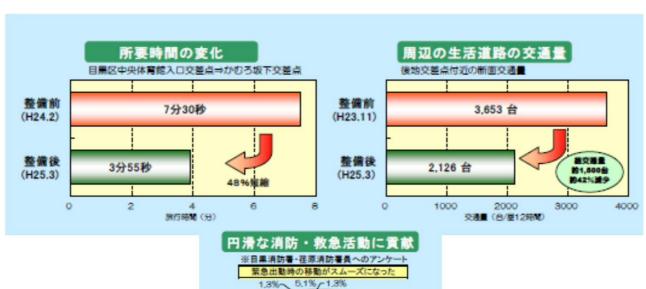
#### 〇交通量調査結果

- ·調査日時 開通前 平成23年11月 開通後 平成25年 3月
- 調査の内容 周辺生活道路の交通量
- ·調査結果 約1,500台の減少

#### 「整備効果」

- 口山手通りと補助第26号線を結ぶ新たな道路ネットワークを形成
- 口生活道路に入り込んでいた通過車両が減少
- 口災害時の延焼遮断帯としての空間確保、避難場所へのアクセスルートが強化
- 口事業費 約141億円
- ■品川区小山台一丁目~目黒区目黒本町三丁目(L=600m)
- ○所要時間が約1/2に短縮
  - 目黒区中央体育館入□⇒かむろ坂下 7分30秒から3分55秒に
- ○周辺の生活道路に迂回していた自動車が4割以上減少
- ○経済効果 年間約4.5億円(時間短縮+経費節減+交通事故損失の減少)

#### 「その他の事業効果」



92.3%

□思う □思わない □どちらでもない □無回答

なった

消防署員

の意見

一方通行路が多い街区なので、

46号線が開通し非常に便利に

道路が広くて走行しやすい

国答者=78

# 事 業 前 写 真

平成15年 5月撮影



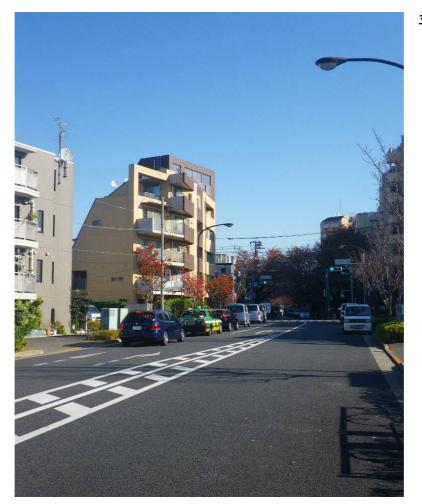


平成15年 5月撮影

# 事 業 後 写 真

平成25年12月撮影





平成25年12月撮影